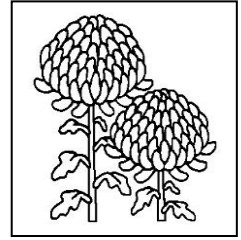


2016 年秋号

# ぷらう 55号



発行：TEACCH プログラム研究会

## <会長のつぶやき>

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

9月に久しぶりに渡英し、以前留学していたローナ・ウイングセンターや友人のいる大学を訪問してきた。

ウイング先生が1981年にアスペルガー症候群の論文を書かれたときに、将来司法精神医学領域で議論されるかもしれないと予言された。その予言は幸か不幸か当たったようだ。アスペルガー症候群と犯罪の関係は色々議論されてきた。ちょっと普通の犯罪と違うためにメディアや世間の関心を浴びやすいということがあるかもしれない。ただ頻度としては決して多いものではない。

一方、ASDの人や子どもがイジメや犯罪の被害にあうことは多い。こっちのほうがあまり議論されないのは不思議なことだと思う。イジメや虐待の被害にあったASDの子どもは後にうつ状態などの精神科的問題を持ちやすく、その一部は自殺をしようとする。さらに、そのごく一部が触法行為に繋がることもある。自殺を予防するには「命を大切に教育」が、触法行為を予防するには「厳罰化」するのが良いと思っている人がこの日本には多いようであるが、果たしてどうだろう。ASDの子どもや成人は相手の裏の意図を読むのが苦手なことが多く、他者に騙されやすい。交通事故などのめめ事が起きたときにも、上手に自己主張ができないため実際には被害者でも「自分に責任があること」になってしまう。めめ事が生じて裁判になると、自分に不利なことでも開けっぴろげに話してしまう。などといった不利益が生じることが多い。

メジボフ先生に犯罪とASDの関係についてインタビュー調査をした。メジボフ先生は犯罪を犯したASDの人のアセスメントを依頼されることがあるそうだが、彼らの多くが犯罪とは全く関係なような愛すべき人たち(Lovable people)だと仰っていた。色々悪条件が重なることで犯罪に繋がるので本来は善良な人たちなのだという。あるアメリカの研究者はASDで犯罪を犯した人たちの文献調査をしたところ、過半数がASDに加えて別の精神科的問題が生じていたことを見いだした。ASDの人の自殺やひきこもり、触法行為などの将来の問題を予防するには、イジメや虐待などの被害から守ることが大切なことだ。

また、なんらかの変調のサインがあったときは、早めに介入すること。介入の方法は自閉症支援の基本に立ち返って、その人の自閉症特性に配慮した環境設定をすることと、うつ病などの精神科的問題があれば、その治療をきちんとすることだろう。



## 平成 28 年度 第 2 回 理事会報告

平成 28 年 6 月 18 日開催

### 1. コラボレーションセミナー2016（京都）について

- ・実施報告と会計報告について（別紙参照）
- ・次回の会場候補について（シルクホールが閉鎖されるため）
  - ①京都烏丸コンベンションホール（収容人数 500 人）
    - ・シルクホールの最寄り駅と同じ
  - ②ワコールアカデミー（京都駅近く）
    - ※次回も京都の予定で検討。今後、京都支部の負担を考え各支部開催も検討の余地がある。
- ・他会や他組織と講師招聘等をシェアすることで経費を落とすことが出来る。
- ・次回の講師候補としてはクリンガー先生に依頼したい。  
テーマは「成人期への新しい TEACCH の取り組み」というテーマ（仮）の方向で依頼していく。
- ・日程は 2018 年 2・3 月でクリンガー先生と内山会長の都合が合う日にち。

### 2. 実践研究大会 2017（神奈川）について

- ・1 日目の会場を変更することにした。相模女子大（同じ駅より徒歩 10 分程度）で 300 人は入る。（公開講座を服巻先生にしたため、多くの参加者が見込まれる）
- ・2 日目は当初予定のユニコムプラザさがみはら。
- ・総会は 2 日目に行く。
- ・生涯を通じての支援のため、分科会形式にしない予定。
- ・演題を各支部より募集するが、各ステージに関わりのある方がいると思うので、数人での発表も可。規定では 2 名までの交通費や宿泊費の補助を出すことになっているが、今回はテーマがテーマなので、4 名までを補助することにする。
- ・熊本支部より発表候補がある。引き続き各支部でもリサーチしていく。

### 3. 第 13 回実践研究大会（2019）の開催地について

- ・各支部で検討していく。次回の議題にする。

### 4. 鹿児島支部の立ち上げについて

- ・会則と実際の役員人数の整合性がない。
- ・それぞれが活動しているということであるが、この報告書では実際の様子がよくわからない。今年度は単独で活動していただき、来年度の理事会にかけるといった方がいいのではないか？熊本支部でもサポートしていく。

### 5. 自閉症カンファレンスについて（8 月 20 日～8 月 21 日）

- ・今回もポスターセッションに参加する方向。
- ・各支部のチラシの中で、年間計画があるのは良い。
- ・コラボセミナー、実践研、トレセミの説明があると良いがスペース的に厳しいか？
- ・どのような会員がいるのか？支部の特色等を聞かれることが多かった。
- ・会員になるとどんなメリットがあるのかの情報が不足している。
- ・さらに見やすい形式に変更していく。それを持参もしくはホテルに送付する。
- ・参加できる理事は参加してほしい。
- ・チラシの残数を知らせるので、準備した数と照らし合わせて必要枚数を各支部で準備する。

## 6. トレーニングセミナー（大分）について

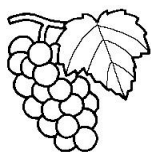
- ・受講者について、各支部からの推薦も受け付ける。
- ・会場費が抑えることが出来たため、参加費を安くすることが出来た。
- ・申し込み後のキャンセルの場合、参加者の変更は認めるが、費用の返却はしない。
- ・受講者の決定は支部で行う。

## 7. 「ぷらう 55 秋号」について

- ・トレーニングセミナーの件については、内容の確認程度で掲載する。
- ・自閉症カンファレンスでのポスターセッションに参加したことを掲載する。  
（担当は笠合常任理事）

## 8. その他

- ・コラボセミナーの抄録を各支部に送付する。送付先の確認をMLで確認する
- ・次回の理事会と総会の確認  
理事会：H29年2月18日（土） 9:15～ 相模女子大  
総会：H29年2月19日（日）12:00～ ユニコムプラザさがみはらセミナールーム

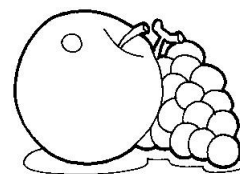


### 平成 29 年度総会のご案内

日時：平成 29 年 2 月 19 日（日）12:00

場所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム

みなさんの大事な会費執行状況や本部の活動について報告します。  
ぜひご参加ください。



### 【会費納入のお願い】

平成 29 年度の会費の請求書は、12 月中に発送予定です。

お早めの納入をよろしくお願ひします。

TEACCH プログラム研究会事務局

## 自閉症カンファレンス NIPPON2016 でのポスターセッションについての報告

今年も TEACCH プログラム研究会の啓発活動の一環として、H28 年 8 月 20 日～21 日に早稲田大学で開催された「自閉症カンファレンス NIPPON2016」にて、ポスターセッションを担当してきました。今年はノースカロライナより、ゲーリー・メジボブ氏とドーン・アレン氏を迎えられ、多くの学びと刺激に満ちあふれておりました。

ポスターセッションは今年で 3 回目であり、毎年興味を持って足を止めてくださる方が多いので、今年は更に視覚化して目に留まるよう、佐々木先生を始め、内山会長と諏訪常任理事の顔写真も掲載してみました。昨年から取り入れている、年間活動が記載されている支部のパンフレットも常備し、これまでの本部事業を拡大して掲示するなど、参加者の皆さんにとって研究会の中身が見えやすい工夫を取り入れてみました。

ポスターセッションの大きな目的は、カンファレンスに参加して、「初めて TEACCH プログラムを耳にした」という方やカンファレンスには毎年参加しているが、「研究会があるとは知らなかった」という方、研究会の存在は知っていたが、「どのような中身なのか不透明で知る機会がなかった」という方など、情報がうまく伝わっていない方々への啓発の場としての役割がメインでした。しかし、既に入会している会員さんからも、「改めて全体像を目にすることができた」との感想をいただいたり、「過去にこのような方々が歴代の会長をされたのか」と再認識されていく方もおられました。

TEACCH の基本でもある、視覚支援の効果は参加者の皆さんにとっても絶大であり、支部のパンフレットを手にしていかれる姿を幾度となく目にすることができて嬉しく思いました。今回のようなカンファレンスに参加される方は、「学ぶ・吸収する」という意識は高く、この場でセッションする意義も強く感じられました。反面、TEACCH プログラム研究会の会員の参加者も多く、声を掛けても「すでに入会しています」と反応が返ってくることも少なくありませんでした。改めて会の大きさを感じましたし、日本の ASD 支援に求められるネットワーク作りとは、やはり大切であると思えました。

研究会は相互研修の場であり、皆さんとこれからもつながり、学び合っていくことで、1 人でも多くの当事者の支援に繋がっていくことを会としても目指していると思います。そのためにも、各支部での例会や講演会、本部の啓発や事業など、地道な活動こそがその礎になると確信しています。また、今後も是非、啓発活動は続けて行けたらと切に願っております。

最後になりますが、今回も派遣して頂いた会に対してはもちろんですが、当日、会場にて啓発活動のお手伝いをしてくださったり、パンフレットの準備にご尽力頂いた支部の皆さまに御礼を申し上げます。

また、皆で会を盛り上げていきましょう！ありがとうございました。

笠合 竜明



## トレーニングセミナーのお知らせ

～大分支部～

今年の11月に、待望のTEACCHプログラム研究会主催のトレーニングセミナーが大分であります。

おかげさまで、トレーナー、トレーニー（参加者）、コ・トレーナー（協力児・者）も決まり、開催に向けての準備をしているところです。他県からもたくさんの方々がトレーニングのアシスタントやボランティアとして来てくださります。参加して下さるすべての方々に心より感謝致しますとともに、皆様が実りある研修を受けられますよう、大分支部一丸となって頑張っております。

さて、今回のお知らせはそのトレーニングセミナーに際して開催される特別講演会のご案内です。11月19日（土）、11月20日（日）に下記日程で開催されます。

11月19日（土）は、内山登紀夫先生と澤月子先生から『対応困難例』、すなわち触法事例、強度行動障害、自殺関連行動、重度のひきこもりなどへの支援方法についてと、『災害時の支援』として、東日本大震災での支援の実際についてご講演を頂きます。

また、11月20日（日）は、諏訪利明先生から『自閉症の学習スタイル』『インフォーマルなアセスメント』『構造化について』についてご講演を頂きます。自閉スペクトラム症についての基礎的理解を深めていきたい方には最適な内容となっております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 講座① テーマ：『対応困難例』『災害時の支援』

日時：2016年11月19日（土）10時00分～16時00分（受付開始：9時30分）

講師：内山登紀夫先生（大正大学臨床心理学科 教授・よこはま発達クリニック院長）

：澤月子先生（社会福祉法人 南山城学園 法人本部障害事業局 スーパーバイザー）

### 講座② テーマ：『自閉症の学習スタイル』『インフォーマルな評価』『構造化について』

日時：2016年11月20日（日）10時00分～16時00分（受付開始：9時30分）

講師：諏訪利明先生（川崎医療福祉大学医療福祉学科 准教授）

会場：別府市公会堂（別府市中央公民館） ※講座①、②とも同じ会場です（各定員500名）

〒874-0908 別府市上田の湯町6番37号 TEL 0977-22-4118

各講座の参加費：会員 3000円 ・ 非会員 5000円

※参加費は当日受付にてお支払願います。

※講座①と②の両方に参加する場合は、会員は6000円、非会員は10000円です。

申込み：別紙申し込み用紙（土倉事務所から配布済）に必要事項を記載の上、郵送もしくはFAXでお申し込み下さい。メールや電話でのお申し込みはできません。申込書などはTEACCHプログラム研究会大分支部のホームページ（<http://TEACCHoita.web.fc2.com/>）からダウンロードすることもできます。申し込みの締め切りは、11月12日（土）（当日消印有効）です。

※申し込み締め切りを10月31日から11月12日に延長しました。

### お問い合わせ・申込み郵送先

〒870-0943 大分市大字片島字長三郎 2996-1 大分こども発達支援センター内

TEACCH研究会大分支部事務局 担当：三ヶ田暢美（まさみ）

TEL：097-557-0121 FAX：097-557-0122

第13回 TEACCHプログラム研究会

# 実践研究大会 IN 神奈川 2017

主催 TEACCHプログラム研究会

今回の実践研究大会では、ライフステージに沿った支援というテーマのもと、「自閉症支援にかかわる人が、ライフステージの視点を持つ機会となるような大会にしたい」と企画しました。ぜひご参加ください。

TEACCHプログラム研究会神奈川支部  
実践研究大会実行委員一同

## 《1日目》 【記念講演】

2017年 講演：ライフステージに沿った支援（仮題）

2月18日(土) 講師：服巻 智子 氏

心と発達相談支援 another planet 顧問  
大阪大学大学院連合小児発達学研究所 招聘教員

ばしよ

相模女子大学314号教室  
神奈川県相模原市南区文京2-1-1（小田急相模大野駅徒歩10分）

## 《2日目》 【実践報告】

2017年 1「幼児期から自立した成人期に向けての支援とは」  
ぼらーの上和田 坂口泰史 他（神奈川支部）

2月19日(日) 2「世界に1人だけの為のトリセツ」  
山辺大喜・孝美 他3名（熊本支部）

3「成人期からの視覚支援～予定伝達支援を中心に」  
社会福祉法人横浜やまびこの里 米澤巧美（神奈川支部）

ばしよ

相模原市立市民・大学交流センター  
ユニコムプラザさがみはら セミナールーム  
相模原市南区相模大野3丁目3番2号（bono相模大野 サウス  
モール3階） 小田急相模大野駅徒歩3分



と き： 2017年2月18日(土)・19日(日)

対 象： TEACCHプログラム研究会会員 申し込み先着 150名

\*懇親会および実践報告については、会員以外の参加はできません。  
参加希望の方は、各支部に入会手続きをしてお申し込みください。

申し込み締め切り： 2017年1月13日(金)

参加費： 5,000円

懇親会： 6,500円（希望者のみ）

## プログラム

1日目（2月18日（土））

相模女子大学3号館314教室

13:00 受付開始

13:30 開会式

13:45 講演会「ライフステージに沿った支援（仮題）」

講師：服巻 智子氏

心と発達相談支援 another planet 顧問  
大阪大学大学院連合小児発達学研究所 招聘教員

（途中休憩あり）

17:00 講演会終了

18:00 懇親会（小田急センチュリー相模大野ホテル）  
ビュッフェ形式です。事前の申込みが必要です。



2日目（2月19日（日））

相模原市立市民・大学交流センター  
ユニコムプラザさがみはら セミナールーム

9:00 開場

9:10 実践報告会

司会 諏訪利明（川崎医療福祉大学）／コメンテーター 調整中

事例1 「幼児期から自立した成人期に向けての支援とは」  
ぼらーの上和田 坂口泰史ほか（神奈川支部）

事例2 「世界に1人だけの為のトリセツ」  
山辺大喜・孝美 他3名（熊本支部）

事例3 「成人期からの視覚支援～予定伝達支援を中心に」  
社会福祉法人横浜やまびこの里 米澤巧美（神奈川支部）

※事例発表の間に5分の休憩を入れる予定です

11:50 休憩（10分）

12:00 総会

12:30 閉会式

12:45 終了予定



### 【会場（小田急相模大野駅）へのアクセス】

新横浜駅から	電車（JR横浜線＜町田＞小田急線）	約30分
羽田空港から	電車（京浜急行＜横浜＞相鉄線＜大和＞小田急 リムジンバス	約1時間20分 約1時間20分
新宿駅から	電車（小田急線）	約35分
東京駅から	電車（JR中央線＜新宿＞小田急線）	約1時間

\*駐車場の準備がありませんので、公共交通機関でお越しください。

\*交通手段について、会場へのお問い合わせはご遠慮ください。

\*会場までの乗車券等については、参加者各自で手配をお願いします。





# 第13回 TEACCHプログラム研究会実践研究大会 IN 神奈川2017

フリガナ					支部
氏名					
フリガナ					
住所	( )自宅( )勤務先 ※どちらかに○を付けて下さい				
電話		FAX			
		E-mail			
勤務先 (所属先)	※ご家族は「家族」とご記入下さい。			FAX	
				E-mail	
1	交流パーティー 2月18日(土) 参加費6,500円	( )参加します ( )参加しません			
宿泊(ホテル)が必要な方のみご記入ください。					
2		第1希望ホテル	第2希望ホテル	○を付ける	
	2月17日(金・前泊)			シングル ツイン	
	2月18日(土)			シングル ツイン	
※ツイン(2名1室)で同室希望の方のお名前( )					
※1名参加の方の相部屋希望はお受けできませんので予めご了承下さい					
■宿泊ホテルと宿泊料金のご案内(下記料金は1泊<朝食付・サービス料金・税金込>のお一人様代金です。)					
ホテル名		2/17(金)	2/18(土)	会場までのアクセス	
1	小田急ホテルセンチュリー相模大野	シングル 13,800 ツイン 11,500	シングル 13,800 ツイン 11,500	徒歩3分	
2	ホテル町田ヴィラ	シングル 8,800 ツイン 7,800	シングル 8,800 ツイン 7,800	小田急町田駅徒歩2分 町田～相模大野電車2分	
●上記金額には弊社手配事務費、郵送通信費、取扱い手数料がふくまれています。					
●ご宿泊ホテルの喫煙・禁煙希望についてはリクエストベースとなりますのでご希望に添えない場合がございます。					
●チェックインは各自ホテルフロントにてお名前をおっしゃって下さい(弊社から予約確認書の発行はございません)					
■お取消し料について					
お申込み後、ご都合により取り消しされる場合は、次の取消し料を申し受けます。					
尚、大会参加資料代は返金いたしませんのでご了承下さい。					
交流パーティー宿泊ホテル	14日前～8日前	7日前～2日前	宿泊前日	宿泊当日および不泊	
	20%	30%	50%	100%	

株式会社小田急トラベル 町田販売センター「TEACCHプログラム研究会 実践研究大会 IN 神奈川2017」係  
 〒194-0021 東京都町田市中町1-1-14 武友ビル4階  
 TEL:042-727-1321 E-mail:koji.suzuki@odakyu-travel.co.jp  
 受付時間: 平日09:15~18:15/土日祝日、12月30日~1月3日は休業

## FAX : 042-727-3630

### 申し込み 2017年1月13日 締め切り